

認知症者の社会参加

-
- 632-636 **1** 認知症の人の社会参加の必要性
●上野秀樹
-
- 638-643 **2** Next-generation DAYS BLG !
—働く・はたらく・ハタラク—
●前田隆行
-
- 644-647 **3** 認知症フレンドシップクラブの実践
●井出 訓
-
- 648-652 **4** ささゆりカフェ
●足立哲也
-
- 654-656 **5** 若年認知症グループどんどんの実践—仲間として
支え合う—
●中川和子
-
- 658-661 **6** 宇治市における認知症カフェ（れもんカフェ）の取
組み—認知症の人にやさしいまち・うじを目指して—
●佐野友美
-
- 662-665 **7** かまくら散歩
●稲田秀樹



言うまでもなく、認知症のある人の問題はこの高齢化社会において地域社会を構成する人たちがそろって考える必要があります。認知症の人が単に支えられる側というだけでなく積極的によりよく生きていくためにどんなことをすればいいのか。厚生労働省は2014年から5年計画で「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」を公表しました。本特集では認知症のある人を地域で支える興味深い取り組みを、就労支援、居場所づくり、支援者の養成などさまざまな観点からご紹介します。

企画担当 ● 西脇恵子（日本歯科大学附属病院，言語聴覚士）